【令和３年度岩手県高等学校新人大会ソフトボール競技における

新型コロナウィルス感染拡大防止対策に係わるガイドライン】

岩手県高体連ソフトボール専門部

令和３年度岩手県高等学校新人大会開催にあたっての確認事項

岩手県高等学校体育連盟

◇ 基本的には、第73回岩手県高等学校総合体育大会に準ずることとする。

１ 開催判断基準

実施の可否については、次の事項をクリアしていることを基本とし判断する。

【判断基準】

(1) 緊急事態宣言等が出され、本県に対し感染対策としての行動制限がかけられていないか。

(2) 県から感染対策としての県又は市町村に行動制限がかけられていないか。

(3) 県教委から学校生活及び部活動について、制限がかけられていないか。

(4) 中央競技団体から示されているガイドライン等と照らし合わせ、問題がないか。

(5) 県競技団体から開催について、理解が得られているか。

(6) 会場施設管理者から開催について、承諾が得られているか。なお、競技大会開催前にコロナウイルス感染の影響により、多数辞退する学校がある場合は、大会開催について専門部で検討し判断する。また、検討結果について、高体連事務局に報告すること。

２ 競技大会参加にあたっての確認事項

【競技大会前】

(1) 大会参加にあたっては、必ず生徒本人と保護者の参加意向を確認し、その意向を尊重すること。

(2) 参加校責任者は、参加する生徒の健康状態（検温・体調）を把握し、体調管理を徹底させること。

(3) 宿泊が伴わない参加が望ましいが、やむを得ず宿泊を要する場合は、部員同士及び、他の宿泊客との密接を避けるなど感染防止の配慮をすること。

(4) 競技大会参加前日（会場入り前）までに陽性者や濃厚接触者等が確認された場合の競技大会参加可否については、所属校の判断・対応とするが、保健所の指示、助言、判断がある場合それを優先する。

【競技大会中】

(1) 大会当日、体調不良や発熱が疑われる者が出た場合は、その該当者とチーム関係者を接触させないよう隔離し、該当者を速やかに医療機関を受診させる。その際、診察結果が判明するまでは該当者を除く学校関係者は、体調管理をしながら参加出来る。しかし、該当者がPCR検査を受検することになった場合は、そのチーム関係者は大会出場を取りやめ、自宅待機をし、保健所の指示を待つ。

※ 陰性の場合は、競技大会に出場できるが、既に予定していた試合（競技）が終了していた場合は、不戦敗・棄権となる。

(2) 大会期間中、チーム関係者内に接触者の可能性がある者や濃厚接触者が出た場合、そのチーム関係者は大会出場を取りやめ、保健所の指示を受ける。

※ PCR検査を受検したチーム関係者全員が陰性の場合は、競技大会に出場できるが、既に予定していた試合（競技）が終了していた場合は、不戦敗・棄権となる。

３ 大会運営にあたっての確認事項

(1) 新型コロナウイルス感染防止対策を施した上で実施すること。

(2) 観客については、保護者及び学校関係者に限り会場観客席への入場を可とする。その際は、以下の事項を考慮すること。また、入場の際のルールについては、競技特性・会場の収容数等に応じ、基本的感染予防対策について各専門部で対応すること。

ア 専門部は入場者の把握をし、万が一に備え、追跡ができる様、連絡先を控えるなどの対応を

すること。

イ マスクの着用や大声を出しての声援を控えるなど、感染リスクを軽減させること。

ウ 大会期間中、一時的にでも選手、役員、観客（保護者・学校関係者）の入場数が1,000人を

超えることが見込まれる専門部については、事前に県復興防災部 復興危機管理室 企画担当

に事前相談をすること。

エ 開催時期の感染状況によっては、専門部と事務局で協議の上、大会の中止または無観客の実施もあり得る。

（１）運営

① 唐梅館総合公園敷地内に，チーム関係者（大会に参加する高校のソフトボール部員・その保護者・教員・部活動指導員），大会関係者（プログラムに記載された運営に関わる者，審判員，記録員）以外は立入禁止とする。ただし，選手等に怪我などの止むを得ない事情が生じた場合は，救急隊員等の入場を認める。（バスの運転手は，原則バス待機とする。メディア，卒業アルバム業者の入場も認めない。）

② 新型コロナウィルス感染拡大防止のため競技別開会式は実施しない。

③ 会場入りする大会役員および選手は、開催２週間前からを目途とした各校における毎朝の検温と健康チェック，そしてマスク着用を義務付ける。また，引率責任者は会場到着後直ちに，ベンチ入りメンバー（指導者含む）および，控え部員を含めた全部員の健康状態を本部へ報告する。発熱（37.5 ℃ 以上）の選手が発生した場合は，チーム帯同を控えさせ医療機関での受診等の措置を図ること。（各チームに配布した「保護者チェックリスト」に必要事項を記入し，各校で保管すること。）

④ 選手以外の入場者には，ネームホルダーを配付するので，それを身につける。

⑤ 会場出入ロには、アルコール消毒液等を設置し、手指消毒を励行する。

⑥ 審判員・記録員については、岩手県ソフトボール協会に対し体調管理の徹底を図るよう申し入れを行う。入場の際は、大会本部にて検温を実施しマスク着用のうえ入場させる。合わせて当日会場入りする全競技役員の健康状況を本部へ報告させる。

⑦ 救護体制については、看護師または養護教諭を常駐させる。ただし、コロナ対応で看護師および養護教諭が常駐できない場合は、救護係が病院への連絡や救急搬送の依頼等を行う。

⑧ 試合日においては、ベンチの消毒作業を終えてからチ－ムを球場へ入場させるよう指示する。

⑨ 大会運営に係り、補助員の協力は求めないことを原則とする。必要であれば専門部の裁量下において補助員の招集を認める。

ア）グラウンド整備およびライン引き等は、試合をする当該校が行うこと。第１試合の球場準備は専門部強化委員と県南地区ソフトボール部顧問、審判で行う。

※ なお、整備作業においてはベンチ入り以外の控え部員を交えても差し支えないこととする。

イ）ボールガールは、試合をする当該校が行うこと。

ウ）ファールボールへの対応は、試合をする当該校が行うこと。

（２）応援・観戦

① ベンチ入りしなかった部員の応援については、飛沫感染のリスク回避のため一斉応援を禁止とする。（メガホン・鳴り物の使用禁止） また、咳エチケットの励行、マスクを着用する。

（３）チーム・選手対応

② チーム関係者は、会場での行動はもとより移動時においても、密閉、密集、密接空間となる満員状態を作らないよう心掛ける。

③ マスクの着用、手洗い・うがいを励行する。

④ 水分や塩分、栄養の補給は各選手個別のペットボトルや容器を使用し、共用コップ等は使用しない。

⑤ 業者に昼食を依頼しているチームは責任を持って対応する。

⑥ 試合終了後のチームの入れ替えは本部の指示に従うこと。

⑦ 試合終了後はベンチ内の消毒作業を引率責任者管理下にて当該校が行う。

【大会中止の判断について】

① 岩手県教育委員会から次の指示が出た場合は中止とする。

ア） 学校の休校・部活動の自粛要請（一斉）

イ） 学校の通常授業・部活動の自粛要請（一斉）

ウ） 学校の通常授業・大会自粛要請（一斉）

② 政府から全国を対象とした「緊急事態宣言」が発令された場合は中止とする。